

3. 都立高校入試の動向

「平成 31 年度 都立高校入試結果と今後の入試動向」

進学研究会 進士 高男 氏

平成 31 年度 都立高校入試結果と今後の入試動向

■都立全日制高校 入試結果推移

(公立中 3 生は志望校調査時の数値＝都立中学を含まない) (志望調査時の定員は編入分等を除く)

入試年度 (中学年度)	公立中	定員 発表時	定員 調査時	推薦選抜					一般選抜 (帰国子女等除く)					志向
	3 生			定員	受験	合格	倍率	不合格	定員	受験	合格	倍率	不合格	率
2008	72447	40230	38978	10446	30134	10443	2.89	19691	28432	38515	28981	1.33	9534	67.6%
リーマンショック (9月)														
2009	72968	40540	39332	10580	31093	10579	2.94	20514	28585	40184	29181	1.38	11003	69.6%
2010	76929	42240	40989	11077	33552	11077	3.03	22475	29743	42784	30329	1.41	12455	70.0%
2011	73560	40350	39105	10592	30796	10586	2.91	20210	28340	40395	28872	1.40	11523	69.3%
2012	75668	41545	40272	10809	31170	10809	2.88	20361	29265	42013	29675	1.42	12338	69.8%
2013 推薦入試変更	75842	41705	40397	9173	29416	9173	3.21	20243	31023	44310	31335	1.41	12975	70.5%
2014 (2013)	77471 +1629増	42425 +720	41017	9120	29496	9120	3.23	20376	31693	45148	31941	1.41	13207	70.0%
2015 (2014)	77354 -117減	42225 -200	40928	9050	28166	9047	3.11	19119	31655	44732	31833	1.41	12899	69.5%
2016 一般入試変更	78115 +761増	42505 +280	41206	9105	27581	9105	3.03	18476	31834	45413	32026	1.42	13387	69.8%
2017 (2016)	78066 -49減	42465 -40	41246	9078	27240	9078	3.00	18162	31887	45509	32030	1.42	13479	70.0%
2018 (2017)	76975 -1091減	41935 -530	40671 -575	9008	25002	9002	2.78	16000	31388	42719	31006	1.38	11713	67.2%
2019 (2018)	76641 -334減	41695 -240	40768	9005	23465	8964	2.62	14501	31517	41690	30994	1.35	10696	66.1%
2020 (2019)	1100減 予測	600減 予測												

都立受験者大幅連続減

2019 : 一般受験 1000 の減 (志望校調査時 **1200** の減)

2018 : 一般受験 2800 の減 (志望校調査時 **3000** の減)

2 年間で都内公立中 3 生の 5% が「都立→私立」第 1 志望先の移動＝リーマンショック時の逆の動き

志向率 ([推薦選抜合格者＋一般選抜受験者] / 中 3 生) 70.0% (2017) →66.1% (2019) **4%近く下がる**

専門学科（総合学科含む）・**普通科**の一部（合格基準 S S 50 以下） → **私立全日制・通信制高校**

普通科の**女子**は合格基準 S S 50~55 の**一部も減小**

私立**総合大学付属高校**への志向（大学定員厳格化・合格者数抑制によるボーダー上昇 新テスト回避）

私立通信制高校への志向（不登校生の環境 付属中生からの選択 各種プロ活動との両立 スクーリング主体型・登校型 [週 1・週 3・週 5] いつでも・どこでも・好きなだけ視聴可能な授業 [スマホを横にして]）

普通科**上位校・中堅上位校**はチャレンジ志向は続くが、**一部の学校では高倍率・基準上昇から一服**

都内公立中 3 生 600 名余りの減（5 月 1 日調査時）→300 名余りの減（12 月中旬調査時）

= 海外 or 地方から東京への流入

■ **1 次**選抜＝一般選抜

実質倍率（受験者÷合格者）

年度	普通			コース制	単位制	普通科計	総合学科	商業科	工業科	農業科	家庭科	専門科計	全日制計
	男子	女子	男女計										
27	1.45	1.44	1.45	1.56	1.47	1.45	1.38	1.16	1.15	1.11	1.23	1.22	1.41
28	1.45	1.49	1.47	1.38	1.45	1.47	1.32	1.18	1.14	1.25	1.15	1.23	1.42
29	1.46	1.47	1.47	1.48	1.43	1.46	1.34	1.15	1.19	1.31	1.46	1.26	1.42
30	1.44	1.47	1.45	1.28	1.32	1.44	1.17	1.04	1.08	1.21	1.25	1.14	1.38
31	1.41	1.41	1.41	1.36	1.31	1.40	1.12	1.01	1.09	1.23	1.35	1.16	1.35

全入の学校があるため実質倍率が 1.00 倍を上回る

普通科計 1.40 ← 1.44 倍 ← 1.46 倍 専門学科計 1.16 ← 1.14 倍 ← 1.26 倍

23 区内の工業科は、工芸高校を除いて、大半が 1 クラス分の欠員

商業科は前年に志望大幅減 総合学科は連続して志望減

分割募集実施校（前期・後期）は、前期募集にシフト（募集増）しているので、倍率ダウンがさらに目立つ

上表に未掲載の昼夜間定時制独立校は、募集増（←定時制課程併置校 [閉課程]）、倍率ダウンがさらに目立つ

1 次手続の欠員

全日制

2019 : 929 (657・島しょ 272) 2018 : 837 (540・島しょ 297) 2017 : 377 (53・島しょ 324)

昼夜間定時制

2019 : 195 2018 : 112 2017 : 104

+1 次手続の欠員

+分割後期募集（2019 : 全日制 469・昼夜間定時制 414 2018 : 全日制 806・昼夜間定時制 606）

+引揚枠・在京外国人枠欠員

-インフル等追検査申請者

= 2 次募集（新聞掲載・都 H P 発表）

2次募集

全日制

2019：1443（島しょ 272 含む） 2018：1647（島しょ 297 含む） 2017：1138（島しょ 324 含む）

■2次選抜

年度	全日制				昼夜間定時制			
	募集	受験	合格	不合格	募集	受験	合格	不合格
2017	1138	1404	886	518	608	838	638	200
2018	1647	1000	945	55	611	460	454	6
2019	1443	1104	796	308	491	302	288	14

日比谷 募集 5 受験 163 合格 8

■3次選抜 島しょ部は欠員でも3次募集しない 自校作成問題（3科一括問題）

全日制

2019：募集 418（20校 延べ 23校） 応募 61

2018：募集 433（30校 延べ 31校） 応募 26 合格 26 手続 24 欠員 409（4月以降学期末の転編入へ）

昼夜間定時制

2019：募集 209（4校） 応募 45

2018：募集 168（4校） 応募 22 合格 22 手続 22 欠員 146（同転編入へ）

■2019 全日制都立高校 募集人員 発表 10/11 新聞掲載 10/12

	2019年度	2018年度	増減	備考
学校数	172校	172校	0校	新規：0校
学級数	1067学級	1073学級	-6学級	募集停止：0校（-0学級） 学級減：9校（-9学級） 学級増：3校（+3学級）
募集人員	41695 (推薦 9005)	41935 (推薦 9008)	-240 (推薦 -3)	計：(-6学級)

昼夜間定時制 稔ヶ丘1学年相当+30（都立高校改革推進計画に基づき、規模・配置の適正化を図るため）

学級減（ ）内は一般入試の実質倍率の変化 前年→今年

青山 (M1.74→1.86・F1.64→1.93) 向丘 (M1.85→1.79・F1.73→1.71) 日本橋 (M1.04→1.65・F1.23→1.58)

東 (M1.62→1.75・F1.74→1.97) 江戸川 (M1.45→1.81・F1.44→1.56) 東村山西 (M1.00→1.13・F1.29→1.23)

東久留米西 (M1.17→1.24・F1.05→1.18) 粕江 (M1.55→1.61・F1.43→1.69) 八丈 (M1.00→1.00・F1.00→1.00)

学級増（ ）内は一般入試の実質倍率の変化 前年→今年

竹早 (M1.59→1.17・F1.80→1.38) 広尾 (M2.05→1.55・F2.00→1.52) 東大和 (M1.45→1.34・F1.54→1.22)

■東京都 公立中学3年生数 推移（都立附属中学校・中等教育学校＝約1600相当を含む）

高校入試年度（中学年度）	公立中学3年 （+都区立附属中学・ 中等教育学校 [1600余り]）	前年比較	前述掲載	備考備考
2017（2016）	79731	-18	-49	
2018（2017）	78840	-891	-1091	
2019（2018）	78159	-681	-334	中学卒業生
2020（2019）	76962	-1197	-1156	新中3
2021（2020）	74455	-2507		東京オリンピック
2022（2021）	78299	+3844		
2023（2022）	80295	+1996		新小6
2024（2023）	80954	+659		
2025（2024）	81917	+963		
2026（2025）	82273	+356		
2027（2026）	82321	+48		
2028（2027）	83176	+855		新小1
2029（2028）	84309	+1133		
2030（2029）	86084	+1775		
2031（2030）	86716	+632		新年小
2032（2031）	84385	-2331		
2033（2032）		減小		
2034（2033）		減小		新生児

■2020（次年度） 募集人員予測

公立中学3年生（都立中学を除く）は前年比で、約 **1100** 余り減少する

都立高校がその50%～60%を受け皿として募集調整する

募集人員は約 **600**（15学級）減少すると推測する

2020：全日時の募集中止校は荒川商業、改編校は五日市（商業科を募集中止）

■定時制

募集中止

2018：雪谷 2019：江北 荒川商業 五日市

募集増

2018：募集増（30増×3校） 六本木 大江戸 桐ヶ丘 2019：募集増（30増×1校） 稔ヶ丘

■一般入試日

2018：2月24日 → 2月23日

2019：2月23日 → 2月22日

2020（次年度）：2月22日のまま予測 2月23日は天皇誕生日へ

■2019 入試概況 1月校長会志望校調査時点

◆◆◆◆◆ 校長会志望調査の概況 ◆◆◆◆◆ 進学研究会

（ ）内は公立中学3年生に対する割合

区分	入試年度	31年度			30年度			29年度		
		男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計
学年制	普通科	19,343	18,563	37,906 (49.5%)	19,592	19,249	38,841 (50.5%)	20,323	19,708	40,031 (51.3%)
	農業科	323	480	803	333	463	796	343	477	820
	工業科	1,988	376	2,364	2,046	373	2,419	2,284	416	2,700
	科学技術科	345	91	436	377	107	484	403	85	488
	商業科	552	928	1,480	501	905	1,406	669	1,195	1,864
	ビジネスコミュニケーション科	153	270	423	108	244	352	153	287	440
	家庭科	31	137	168	18	151	169	22	172	194
	福祉科	5	15	20	6	28	34	9	26	35
	体育科	60	41	101	63	38	101	78	57	135
	国際科	167	335	502	168	338	506	159	313	472
単位制	併合科	5	2	7	7	10	17	14	6	20
	産業科	262	237	499	229	229	458	289	315	604
	普通科	1,426	1,911	3,337	1,501	1,905	3,406	1,488	2,309	3,797
	工業科	118	19	137	145	20	165	152	43	195
	家庭科	5	75	80	2	72	74	4	91	95
総合学科	芸術科	50	232	282	32	245	277	53	225	278
	総合学科	794	1,612	2,406	924	1,732	2,656	1,123	1,914	3,037
都立全日制高校小計		25,627	25,324	50,951 (66.5%) 募集 40,768 倍率 1.25	26,052	26,109	52,161 (67.8%) 募集 40,671 倍率 1.28	27,566	27,639	55,205 (70.7%) 募集 41,246 倍率 1.34
都立産業技術高専		286	43	329	308	28	336	300	37	337
都立全日制高校・都立高専の合計				51,280 (66.9%)			52,497 (68.2%)			55,542 (71.1%)
都立以外の高校・高専（私立・国立・他県）		10,321	8,153	18,474 (24.1%)	10,013	7,736	17,749 (23.1%)	9,245	6,969	16,214 (20.8%)
全日制志望の志望高校未決定者		265	200	465 (0.6%)	204	149	353 (0.5%)	219	158	377 (0.5%)
都立定時制単位制高校（多くは昼夜間制）		1,060	952	2,012 (2.6%)	1,079	1,082	2,161 (2.8%)	1,119	1,033	2,152 (2.8%)
その他（定時制・通信制・特別支援・専修・就職）		2,563	1,847	4,410 (5.8%)	2,409	1,806	4,215 (5.5%)	2,332	1,449	3,781 (4.8%)
公立中学3年生 ⇨ 卒業予定者		40,122	36,519	76,641 前年比 0.4%減	40,065	36,910	76,975 前年比 1.4%減	40,781	37,285	78,066 前年比 0.1%減

2019年3月の公立中学卒業予定者⇨2018年度現在の公立中3生（都立中高一貫併設型校・中等教育学校を除く）は、76641名、前年を334名下回る（男子57名増・女子391名減）

今年度を含めて、今後3年間は減少傾向、東京オリンピック開催の2020年度に底をうち、その後増加する（V字回復≠東京都以外）

都立全日制高校（産業技術高専含む）第1志望者の割合は、連続して減少（66.9%→68.2%→71.1%）。私立高校（国立・他県含む）第1志望者は連続して増加（24.1%→23.1%→20.8%）

要因は、東京都版の私立高校の授業料軽減の拡張策にある（家庭年収約760万円相当以下は実質授業料無償化）と推測できる

表中の「その他」の中で、私立通信制高校（≒都立以外の通信制 [表示内数] 1773名→1498名→937名→725名 [4年前] →154名 [10年前])が増え続けている

都立全日制高校の全募集は240名減（公立中学校卒業予定者334名減に対して）

志望校調査時の都立全日制高校募集数（1月推薦募集+2月一般募集 [分割前期募集]）は97名増、3月の分割後期募集を含めないため、前年比較が全募集の240名減と一致しない

これは、3月の分割後期募集を減らし、2月の一般募集（分割前期募集）を増やす傾向にあることに起因している
都立全日制高校の志望倍率は、1.25倍→1.28倍→1.34倍と連続して下がっている

専門色がはっきりと伝わる学科、時代の要請（グローバル化・情報技術 [システム] 化・デザイン・美術・舞台表現・動物系...）に即した学科、身につけた資格・技術・感性が自身の一生を充実させたり豊かにさせたりすると思える学科は人気がある

国際 多摩科学技術 工芸（デザイン・グラフィック） 八王子桑志（システム情報） 園芸（動物） 瑞穂農芸（畜産） 総合芸術（美術・舞台表現）

前年や最近の志望増から倍率が落ち着いている例：

三田 駒場 竹早 北園(男子) 文京(男子) 昭和 東大和南(女子) 小金井北 新宿 多摩科学技術、広尾 武蔵丘 向丘 深川(女子) 小平南 調布南 小平西

再び志望が増えている例：田園調布 大崎 高島 足立西 日本橋 南葛飾 久留米西 調布北

再び高倍率になっている例：小山台(女子) 青山 城東 江戸川 本所 小平（普・外国語） 狛江

続伸している例：小山台(男子) 鷺宮 江北 小岩 工芸

安定している例：雪谷 目黒 豊多摩 石神井 上野 南平 松が谷 東大和 芦花 杉並総合 青梅総合

男女で前年と逆の動きをしている例：杉並 足立

以前順当な倍率だったのが連続して志望が減っている例：松原 紅葉川 日野 福生 清瀬 小平西

募集学級減がさらに倍率を押し上げている例：青山 江戸川 日本橋 久留米西 狛江

募集学級増がさらに倍率を押し下げている例：広尾 竹早

校舎を改築・新築した学校、工事途中の学校、さらに実施設計段階に入っている学校

説明会に参加した受験生・保護者に影響を及ぼす（特に女子） 高校3年間の学校生活を念頭に置けば、グラウンド整備や各種施設改修の状況も重要である

継続工事（グラウンド・外溝も含む）：千歳丘 豊島 竹台 城東 東村山 神代 府中東

校舎・施設の完成：日比谷 大森 大泉 鷺宮 板橋 江北 足立 足立新田 南葛飾 小岩 篠崎 日野台 松が谷 八王子北 昭和 武蔵野北 小金井北 小平南 保谷 調布南 第三商業 第五商業 練馬工業 王子総合 多摩科学技術

今後の計画：広尾 日野 府中 永山 中野工業 桐ヶ丘（新国際）

併設型中高一貫校

国数英のグループ作成問題、すでに附属中学で3年間学校生活を過ごしている内進生への意識など、志望が限定される要因がある 学力向上・進学対策で成果をあげている学校でも敬遠傾向があらわれる

附属中学入試と高校入試の倍率の違いに学校関係者も戸惑っている

併設型中高一貫校の外部募集（2学級募集）の中止予定

2021：富士 武蔵 ...年から高校募集停止、中学募集開始

2022：大泉 両国 ...年から高校募集停止、中学募集開始

2021以降（未定）：白鷗（施設設備の状況のみて）

制服をリニューアルした学校、推奨服・標準服・制服を導入した学校

2018：八王子東 府中西

2017：江北 青井 淵江 南葛飾 東村山西 拝島 足立工業

2016：上野（標準服→制服） 日野 小平西

■進研偏差値からみた都立入試得点（前年度）

偏差値	国語↑	数学↓	英語↓↓	社会↓	理科↑	5科計↓
60	84 (78)	77 (81)	79 (87)	72 (80)	85 (81)	397 (407)
50	74 (68)	68 (69)	62 (72)	57 (63)	69 (63)	330 (335)
40	60 (53)	55 (57)	39 (50)	41 (46)	53 (46)	248 (252)

前年度より得点率は下がったが、下位層はやや上がっている模様

■英語教育の推進とグローバル人材育成の3つの観点

（都HP「Tokyo Portal」で、現在の国際教育関係の事業を紹介）

- ・使える英語
- ・国際感覚
- ・日本人としての自覚と誇り（他教科でも）

- ・使える英語

外国人指導者 授業のCAN-DOリスト 少人数指導 モジュール授業 東京都独自教材 4技能評価 スピーキングテスト ICT活用 小学校での教科化

・国際感覚

留学支援 外国人留学生 国際バカロレア 先進的な教育 海外大への進学 英語村 国際交流イベント 姉妹校提携 おもてなし 多言語

東京グローバル10(10校) + 推進校(40校)

オンライン英会話(スカイプ フィリピン人講師 30分×... 10校+12校)

発音矯正ソフト(2017-1月～ 全校)・新設年度未定 「**新国際高校**」を開校 港区白金2丁目(東京都財務局所管 旧東京都職員白金住宅地)に設置 「国際教養学科の単一学科 学科の中に理数教養系(専門教科「理数」の設定)と語学教養系(第二外国語の単位数を多く設定)を設置 新設の5年前に発表される例が多い

■東京都 教育庁 新年度予算案 ピックアップ

給付型奨学金新設(低所得家庭) 学力向上策新規 スマート構想 多言語翻訳システム導入 グローバル人材育成⇨継続 **理数科**新設(2022 立川 2023以降 23区内にもう1校) 産業高校の新類型 農業系高校のGAP取組み 新教科ビジネスアイデア 校舎の改築・大規模改修段階の学校(基本計画・実施設計・工事着手・継続工事)

立川理数科と国立のどちらを選択

戸山(? 推測) 理数科と日比谷のどちらを選択

■東京都中学校英語スピーキングテスト

2019(新中3) プレテスト 都内公立中抽出校(8000名規模)対象

2020(新中2) 確認プレテスト 公立中3全員対象

2021(**新中1**) スピーキングテスト 公立中3全員対象 入試に活用

実施月: 毎年11月第4土曜日から12月第2日曜日までの週休日または祝日

実施会場: 大学等(都立高校も含む)の外部施設(島嶼部などは都有施設)

実施形式: タブレット等端末に解答音声を録音する方法

受験回数: 各受験者1回

受験料: 既存の検定試験などを踏まえ、適切な価格を設定

都内公立中学3年生については、東京都教育委員会が負担する

実施団体: 2019年5月下旬に決定・公表

